



日本の活躍歴史

あなたは
国連のすべさ

知ってる？

今日はみなさんと
いっしょに国連に
ついて学習しましょう



日本の伝統を世界へ

地震などの災害が多い日本は、その体験や積み重ねてきた防災技術を世界に広げるため、国連防災世界会議をリードしている。また、国連を通じて日本が提供し喜ばれているのが蚊帳だ。アジアやアフリカなどの発展途上国ではマラリアなど危険な病気を蚊がけ立ちし、命を落とすこともある。蚊帳から身を守る日本の伝統が世界で役立っている。

名を残した日本人



緒方 貞子 さん

緒方貞子さんは、日本人で初めての国連難民高等弁務官として1991年から2000年まで10年間の任期を務めました。緒方さんは、1927年に東京に生まれ、幼少期をアメリカ、中国、香港などで過ごしました。大学卒業後アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号、カリフォルニア大学で政治学博士号を取得しました。

未来への提案

今、世界から役に立っていますか、それともこの後も続け、もっと深い問題もどうしたらよいのか考えて、考えたことを提案し、解決にみちびけるような未来にしていきたいです。また、ニュースなどではシリア難民は苦しんでいると伝えていると伝えているだけだから、それを知った日本国民は知らないふりをせず、積極的に募金をして、けがをしてしまった子ども達の手を助ける、ヨーロッパへ行くための船を寄付したいと思っています。

日本の

貢献

国連平和維持活動 (PKO)

国連は平和への脅威を支援するため、加盟国が自発的に派遣する部隊によるPKOを行い、日本は1992年にカンボジアPKOに派遣され、以来、様々なミッションに参加し、世界のために貢献してきました。

人間の安全保障

国家が自国の安全を守ることは、伝統的な安全保障の考えです。しかし、今日の国際社会は、多様で複雑な課題や脅威にさらされています。そういった状況において、人間一人ひとりに着目し、その安全を守り、人が尊厳をもって生きることができるような国や社会を作っていくという考え方が「人間の安全保障」です。日本は、この考え方に基つき、様々な分野で国際貢献を行っています。

国連ランキング

	分担金の割合(%)	金客負(億円)
アメリカ	22	594
日本	9.6	237
中国	7.9	193
ドイツ	6.3	156
フランス	4.8	119

記者の感想

国連に日本が加盟してから、カンボジアや南スーダンなどでも役に立ち、世界から高い評価を受けている日本は素晴らしいと思います。今の平和を目指すという目標を、水からも持ち続け、内戦などが起こった時などは協力して援助したりして、世界にもっと日本の良いところを示すことができればいいと思います。国連は世界平和を目指し、より良い国づくりのためにたくさんの分野から手助けをしてくれていることを知りました。私はシリアなどの内戦がずっとなくなり、国連機関の力で被害にあった人を助けたいと思います。数年後に私が高校生になったら、国連の意見交換会に参加してみたいです。私は特に発展途上国の活性化のために何をしたいかはよく話をしてみたいと思います。

参考資料
一、学習用資料「日本と国連」外務省ホームページ
二、月刊NEWSがわかる2016年10月号 毎日新聞社

へ福井 遙音